

浜岡原子力発電所の構内道路における油の漏えいについて

2012年4月24日

発生場所	発電所構内道路
発生年月日	2012年4月24日
発生時の状況	<p>10時30分頃、構内道路(周辺防護区域内[※])に帯状の油の漏えい跡があることを当社社員が確認しました。</p> <p>現場を確認したところ、屋外工事で使用するエンジン発電機に給油するため、軽油を運搬していた軽トラックの荷台の携行容器より軽油が道路に滴下していたことがわかりました。</p> <p>漏れた軽油については、構内道路の排水溝等への流入はなく、発電所外への影響はありません。</p> <p>なお、漏れた軽油の量は約10リットルと推定しています。</p>
対応・措置	漏れた軽油については、中和剤により処理を実施しました。
放射能の影響	本事象は、放射性物質の漏えいに関わる事象ではありません。
お知らせ基準	運転情報「表 2-13 建屋内又は屋外タンク施設等において、油、薬品等危険物の異常な漏えいを発見したとき」に該当します。

※ 周辺防護区域とは、核燃料物質を防護するために、発電所建屋周辺に設けられた区域です。



軽油が漏えいした跡

以上